



特別支援教育ほっと通信



令和4年3月
西部教育局

移行支援会議 - 引継 -

進学等の際に、「どのような支援があれば、子供たちが安心して学校生活を送ることができるのか」を確実に伝え、新しい環境でできる支援を検討する会議

【参加者】 保護者、進学先の教職員、在籍学校の教職員等

【内容】 ①学校や家庭での児童生徒の様子や支援の内容を、進学先の教職員に伝える。

②保護者の希望に沿って、個別の教育支援計画等を引き継ぐ。

移行支援会議の進め方のポイント（小学校から中学校への例）

【次第の例】

第 回 移行支援会議

1. 日時 平成 年 月 日 ()

【開催場所の工夫】

- ・ 1回目は在籍校で開催
- ・ 進学の時期が近くなれば、進学先の学校で開催

2. 場所 ○○立○○小学校

3. 出席者 保護者
○○小学校
□□中学校
◇◇（関係機関）

【事前に連絡】

- ・ 保護者にお話いただく内容は、じっくり考えられるように余裕をもって伝えること
- ・ 出席できない関係者には、事前に助言等を聞き取っておくこと

4. 目的 (○○さんが) スムーズに中学校生活を送ることができるように、関係者が情報を共有し合い、よりよい支援ができるようにする。

【目的の共通理解】

- ・ 参加者全員が正しく理解すること

5. 支援の経過と様子

- (1) 小学校より
- (2) □□□□より
- (3) ◇◇◇◇より
- (4) 保護者より

【支援の検討】

- ・ これまで行われていた支援を土台（継続）とし、新年度からできる支援について検討すること
└ (学習面、生活面、社会性・対人関係面等)

6. 今後の方針

【保護者の安心感】

- ・ 児童が在籍している学校の先生が司会進行
- ・ 和やかな雰囲気で会が進行できるような環境の工夫



お花を飾るワンポイント！

【個人情報保護に留意】

会議後に個人情報が流出しないよう、「レジュメ等は保存用を除いて廃棄する」などの対応が必要

「支援会議-校内での支援を検討-」については、
ほっと通信(平成30年7月号)を御確認ください。

